

ウトナイ湖通信



No.225

2023年2月号



結氷したウトナイ湖で水面が見えるのは、川の流れ込みによるもの

ウトナイ湖は、周囲約 9km、面積約 275ha、平均水深約 0.6m の淡水湖です。鳥類はこれまでに約 270 種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。そのほりにあるウトナイ湖野生鳥獣保護センターから、情報をお届けします。

お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

日時: 2月12日(日)10:30~11:30

内容: レンジャーや当センターのボランティアが 40 分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内するガイドウォークです。荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

定員: 先着 10 名程度

対象: 小学生以下保護者同伴

事前申込: なし。直接当センターへ

※参加される方は、防寒着の着用、雪上を歩ける靴でお越しください。



2月のイベント情報

市民ギャラリー 2月のギャラリーの展示内容や日程の詳細は、当センター公式 SNS でお知らせします。

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆

TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間: 午前 9 時~午後 5 時 / 入館無料

休館日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター 検索



ラムートくん

~ ウトナイ湖 ~

- ・国指定鳥獣保護区特別保護地区
- ・ラムサール条約湿地
- ・東アジア・オーストラリア地域
フライウェイ・パートナーシップ

当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。



コミミズク

原因：衝突疑い



リハビリケージ内での様子



強制給餌の様子

- 11月 1日 市内の会社敷地内で飛べずにいるところを発見され、保護センターへ搬送。明らかな外傷は認めなかったが、左翼がやや下垂し、低空を数メートル飛翔できる程度。衝突等による打撲症を疑う。
- 11月 2日 容体は安定していたが、自発採餌を認めず、体重維持をはかるために、1日3回強制給餌を行った。
- 11月 4日 飛翔リハビリを続け、徐々に回復をみせ、保護から1ヶ月、十分な飛翔を確認し、リリースにいたる。

リリース

コミミズク (フクロウ目 フクロウ科)

全長38cm。北海道へは冬鳥として渡来します。海岸草原や河川敷、農耕地などで生息し、主にネズミを捕食します。フクロウ類の中では、昼間もよく活動するタイプで、草原や原野の上を低く飛んだり、杭の上にじっととまって獲物を探している姿などが観察できます。

トピックス



毛糸をぐるぐる巻いて作るシマエナガ

エナガ(亜種シマエナガ)のポンポン作り体験を1月21日に開催しました。申込初日に予約が埋まるほどの人気ぶりで、当日は7組14名の方が参加され、エナガの色にあわせて毛糸を巻いてポンポンを作った後、目や嘴をつけました。それぞれ個性あふれる作品が出来ました。これをきっかけに、本物のエナガも探していただけたら嬉しいです。



2月のウトナイ湖にマガンの声

越冬地の本州から、繁殖地のロシア極東を目指して渡る「マガン」は、ウトナイ湖には中継地として春に飛来します。3月中～下旬は、例年数万羽の群れが見られます。しかし、実は寒さ厳しい2月中旬頃からマガンの声が湖に聞こえてきます。数百羽ほどのマガンですが、その「キャハハ」という賑やかな声が「春はあと少し！」を思わせてくれます。



ボランティアコーナー

当センターのボランティア活動以外にも、舞鶴遊水地やウトナイ湖などで鳥類調査や観察が続けられている島崎さんにその魅力をお聞きしました。

【野鳥の調査や観察を続ける魅力】 島崎 康広



2020年3月15日のウトナイ湖早朝（島崎氏撮影）

今は氷に覆われているウトナイ湖にも1ヶ月後（3月）には数万羽のマガンが見られます。駐車場から聞こえてくる鳴き声にせかされるように湖面に行き、今朝は何万羽になるか？とのわくわく感と共にマガンの数を数えます。そして一斉に飛び立つマガンを体験しようとその時を待ちます。状況によっては地鳴りと共に飛び立つ様子は圧巻で、それだけでも夜明け前から調査を行う楽しみで眠気も寒さも忘れてしまいます。もう一つ楽しみがあるとするれば、「ウォーリーを探せ」ではないですが何万羽の中から1羽のマガン以外の雁を見つけたときの喜びかもしれません。

【ウトナイ湖・クイズ!】

越冬しに来る個体がいるため、冬はウトナイ湖周辺にいるワシの数が増えます。ウトナイ湖では2種のワシが見られます。

【オジロワシ】…1年中見られる留鳥ですが、冬に渡ってくる個体もいます。

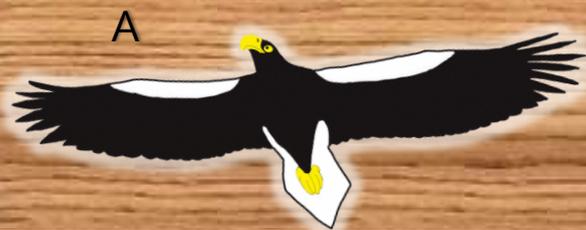
【オオワシ】…秋に渡ってくる冬鳥です。

さて、2つのイラストの内

「オオワシ」はどちらでしょう？

※答えは4ページにあります。

ウトナイ湖 お楽しみコーナー



Instagram



facebook



Twitter

公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



